

殿

# 仕 様 書

仕様書番号 FJS-F-2-技-15-025

品 名 衛星放送テレビジョン受信用 アルミ編組同軸ケーブル  
S-5C-FB-AL (灰・黒)



富士電線工業株式会社

〒582-0001 大阪府柏原市本郷5丁目5番48号

TEL 販売部 072-(971)-8831(代)

TEL 技術部 072-(973)-0711(代)

## 仕 様 書

(衛星放送テレビジョン受信用)  
アルミ編組同軸ケーブル

### 1. 適用範囲

この仕様書は、富士電線工業株式会社が製造する衛星放送テレビジョン受信用発泡ポリエチレン絶縁ビニルシース アルミ編組同軸ケーブルの次のサイズのものについて規定する。

S-5C-FB-AL (灰) (黒)

### 2. 参考規格

J I S C 3 5 0 2 テレビジョン受信用同軸ケーブル

### 3. 構造

付表1による。

### 4. 特性

付表2による。

### 5. 試験方法

#### 5.1 外観

外観は、J I S C 3 0 0 5 (ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法) の4.1による。

#### 5.2 構造

構造は、J I S C 3 0 0 5の4.3による。

#### 5.3 内部導体抵抗

内部導体抵抗は、J I S C 3 0 0 5の4.4による。

5.4 耐電圧

耐電圧は、内部導体と外部導体間について行い、J I S C 3 0 0 5の4.6 b) による。

5.5 絶縁抵抗

絶縁抵抗は、内部導体と外部導体間について測定するものとし、  
J I S C 3 0 0 5の4.7.1による。

5.6 特性インピーダンス

特性インピーダンスは、周波数1 0 M H zで、同調法その他適当な方法によって行う。

5.7 減衰量

減衰量は、直接法その他適当な方法によって行う。

5.8 シースの引張り

シースの引張りは、J I S C 3 0 0 5の4.16による。

5.9 シースの加熱

シースの加熱は、J I S C 3 0 0 5の4.17による。  
加熱温度及び加熱時間は、J I S C 3 0 0 5の4.17.2の表5のBによる。

5.10 シースの耐寒

シースの耐寒は、J I S C 3 0 0 5の4.22による。  
冷却温度は $-10^{\circ}\text{C}$ 以下とする。

5.11 屈曲

屈曲は、完成品から適当な長さの試料をとり、 $18^{\circ}\text{C}\sim 28^{\circ}\text{C}$ の室温でケーブル外径の20倍の外径を有するマンドレルに沿って $180^{\circ}$ 曲げてこれを原位置にもどし、次に、反対方向に $180^{\circ}$ 曲げこれを原位置にもどす。この操作を10回繰り返した後、解体して調べる。

5.12 内部導体と絶縁体の密着

内部導体と絶縁体の密着は、完成品から1 m以下の試料をとり、その絶縁体を固定し、 $18^{\circ}\text{C}\sim 28^{\circ}\text{C}$ の室温で内部導体を引張ることによって行う。  
引張速度は100mm/minまたは200m/minとする。測定値は1 mに比例換算する。

6. 荷造り

S-5 C-F B-A Lは、1条ずつタバ巻又はドラム巻とし、運搬中損傷のない様に適当な荷造りを施す。

7. 環境負荷物質

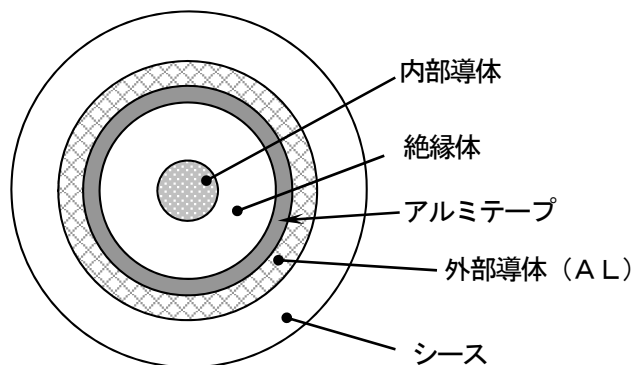
シース材は、カドミウム・鉛・六価クロム・水銀及びその化合物を含有しておりません。

## S-5C-FB-AL (灰) (黒)

付表1 構造

項 目		規 格 値	
内部導体 (軟銅線)		外 径 (mm)	1.05 ± 0.05
絶縁体 (発泡ポリエチレン)		厚 さ (mm)	1.98
		外 径 (mm)	5.0 ± 0.2
外 部 導 体	両面アルミ箔 張付けプラス チックテープ	全体の厚さ (mm)	0.05
		アルミ箔片面の厚さ (mm)	0.01
	編 組 (アルミニウム合金)	素 線 径 (mm)	0.14
		持 数 × 打 数 (mm)	4×24 又は 6×16
		ピ ッ チ (mm)	42 以下
シ ース (ビニル)		厚 さ (mm)	0.95
		標 準 外 径 (mm)	7.7
		仕上り外径 (mm)	7.7 ± 0.3
		色 相	灰色 又は 黒色
概 算 質 量 (kg/km)		52	
表面表示		S-5C-FB-AL	FUJI E.W.C

## 断面図



## S-5C-FB-AL (灰) (黒)

付表2 特性

項 目		規 格 値	試 験 方 法
外 観		キズ、色ムラ等その他異常のないこと	5.1
構 造		付表1による	5.2
内部導体抵抗 (20℃)		21.1 Ω/km 以下	5.3
耐 電 圧		AC 1000Vに1分間耐えること	5.4
絶縁抵抗 (20℃)		1000 MΩkm 以上	5.5
特性インピーダンス		75±3Ω	5.6
標準減衰量 (20℃) ※	90 MHz	58.8 dB/km (最大: 67.6 dB/km 以下)	5.7
	220 MHz	95.0 dB/km (最大: 109 dB/km 以下)	
	470 MHz	145 dB/km (最大: 167 dB/km 以下)	
	770 MHz	192 dB/km (最大: 221 dB/km 以下)	
	1300 MHz	261 dB/km (最大: 300 dB/km 以下)	
	1550 MHz	291 dB/km (最大: 335 dB/km 以下)	
	1770 MHz	315 dB/km (最大: 362 dB/km 以下)	
	2000 MHz	340 dB/km (最大: 391 dB/km 以下)	
	2150 MHz	355 dB/km (最大: 408 dB/km 以下)	
	2602 MHz	400 dB/km (最大: 460 dB/km 以下)	
	3224 MHz	459 dB/km (最大: 528 dB/km 以下)	
シースの引張	引張強さ	10MPa 以上	5.8
	伸 び	200% 以上	
シースの加熱	引張強さ	加熱前の値の80% 以上	5.9
	伸 び	加熱前の値の80% 以上	
シースの耐寒		試験片が破壊しないこと	5.10
屈 曲		シース及び外部導体上に、きれつ、破壊及びはなはだしい変形など異常のないこと	5.11
内部導体と絶縁体の密着		内部導体が、絶縁体から脱するまでの最大張力は100N/m以上であること	5.12

(備考) 標準減衰量の3224MHz は参考値とする。